

うちどく 家読の ススメ

No.14

中・高学年向け

2026.10 発行

「家^{うちどく}のみんなで本を^{読む}」=家読

読書をととして、家族の「きずな」を深めてみませんか？

たとえば…

- 同じ本を読んで、感想を話す
- 最近読んだ本を紹介する
- 絵本の読み聞かせや本の朗読をする



～図書館の本～

学校の図書館や地域の図書館をはじめ、いろいろな「図書館」を舞台にした読み物を集めました。図書館のある場所や利用できる時間はさまざまで、訪れるお客さんも人間だけではありません。本の中の「図書館」を、そっとのぞいてみませんか。



『ひみつの地下図書館』1～4

アビー・ロングスタッフ // 作

代田 亜香子 // 訳 阪口 奈緒 // 訳

二木 夢子 // 訳 石垣 賀子 // 訳

坂口 友佳子 // 絵 ほるぷ出版

幼い頃に母親と別れ、お屋敷で働くタリーは10歳の女の子。仕事で大いそがしの毎日だったけれど、暗号を解いたことから、思いがけず、地下図書館の管理人に。母親の秘密を追う、謎解きと魔法の物語。



『図書委員は泣かない』

(【ジュニア版】)

青空小学校いろいろ委員会5)

小松原 宏子 // 作 あわい // 絵

ほるぷ出版

図書委員のシオリは本が大好きで、ついたあだ名は“ホン子”。ある日、図書室に隠れていた男の子・ユウキに本を読んだら、繰り返し、同じ本を読んで欲しいとせがまれるようになって…。

★『消えた図書室』西村 友里 // 作 大庭 賢哉 // 絵 Gakken

手術をすることになったひいおばあちゃんを優人が訪ねると、「学校の図書室が消えちゃった」と元気がない様子。この間本を借りに行った時には間違いなくあったのに、なぜ？図書室が舞台のミステリー。

★『あずきの絆 ぼくが図書室で出会った妖怪』高森 美由紀 // 作 神保 賢志 // 絵 岩崎書店

家庭の事情で転校してきた小学5年の蓮は、こわい話や不思議な話の本を読むことが大好き。クラスに馴染めないことに悩んでいたある日、図書委員の野田さんと図書室で妖怪の小豆洗いに会い…。

★『ぐるぐるの図書室』

工藤 純子 // 著 廣嶋 玲子 // 著 濱野 京子 // 著 菅野 雪虫 // 著 まはら 三桃 // 著 講談社

舞台は、小学校の図書室。きっかけは、入口ドアの、決まった人にしか見えない、見る人によって内容が異なる茜色の貼り紙。不思議な女性に誘われて始まる、5つの連作小説。

あいづわかまつしりつあいづとしょかん
会津若松市立会津図書館

〒965-0871 会津若松市栄町3-50 TEL 0242-22-4711

会津図書館HP



会津図書館X

